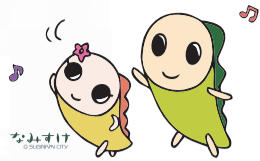




すぎなみ 教育報



No.206

平成24年10月1日

すぎなみの教育情報発信中!

教育委員会ホームページ

<http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp/>

発行

杉並区教育委員会

杉並区阿佐谷南1-15-1

☎ 3312-2111 FAX 5307-0692

輝け! 中学生

頑張る中学生を応援しています

教育委員会では、夏の暑さに負けずに頑張る中学生の学力・体力・防災意識の向上などを図るために、様々な事業を行いました。その一部をご紹介します。



プロ野球「ヤクルトスワローズ」OBによる野球指導



Jリーグ「FC東京」によるサッカー指導



外部講師による授業



教室には、小学校教員の姿も

合同部活動スペシャル 2012

夏季パワーアップ教室

中学生にとって大きな意義をもつ部活動。

杉並区では、「今よりもっとうまくなりたい」という生徒たちの願いや、「本格的な指導法を学びたい」という教員の願いに応えるために、夏休みの期間を利用して、「合同部活動スペシャル」を開催しています。

今年度は、8月7・8日の2日間行われ、バスケットボールの東京サンレーヴスの選手やバレーボールの元オリンピック金メダリストの白井貴子さんなど、様々な方の指導のもと、サッカー・バレーボール・バスケットボール・野球の4種目に、481人の生徒が参加しました。

ロンドンオリンピック開催中に行われたこともあり、参加した生徒は、活躍する選手の姿に自分を重ね合わせ、真剣な態度で練習に取り組んでいました。また、プロ選手などからの細かい技術指導により見違えるようなプレーをしている姿やスポーツを通して他校の生徒と交流している様子がとても印象的でした。

いつの日か、この合同部活動を経験した杉並区の中学生在がオリンピックの舞台上で活躍する日が訪れるかもしれません。

区立中学校全校において、生徒の確かな学力を育むことを目的とした補習授業「夏季パワーアップ教室」を、夏休みの期間に実施しました。

各学校によって授業内容や期間は異なりますが、国語・数学・英語の3教科を中心に、生徒の習熟度にあわせて基礎と応用コースを設けています。小・中学校教員のほか、外部講師61名と地域・学生ボランティア47名の方に、ご協力をいただきながら、「学習内容のつまづきを克服したい」「もっと進んだ内容に挑戦したい」という生徒の思いを満たす学習を行うことができました。

参加した生徒たちからは、「5日間出席し、主に2年生の復習をしました。授業を通して、少しずつ理解してきました。」「高校受験のポイントやコツを学びました。受験勉強に生かしていきたい。」という感想が寄せられました。

杉並区では、各学校における主体的な学力向上の取組を積極的に推進し、より質の高い教育の実現を図っていきます。

中学生レスキュー隊



消防服とボンベ(合計20kg)の着用体験

中学生レスキュー隊は、防災意識や地域貢献意識の向上を目的とし、中学生が部活動や生徒会活動の一環として編成される組織です。区立中学校全校に設置されており、今年度は326名の隊員が参加しています。7月7日の発足式では、放水訓練や車椅子搬送訓練などを行ったほか、8月20・21日には杉並消防署協力のもと、地上7mからのロープを使った降下訓練などを行いました。参加した生徒は、実際に消防服を着用しボンベを背負うなど訓練を通して、現場で機敏に活動する消防隊員の大変さと日々の努力を知り、あこがれの眼差しを向けていました。



ロープ渡過訓練

就学前教育の充実について

乳幼児期は、心情や意欲、基本的生活習慣など、生涯にわたる人間形成の基礎が培われる極めて大切な時期です。教育委員会では、4月に済美教育センターに就学前教育担当を新設しました。豊かな人間性と生きる力の基礎を育み教育・保育活動の充実を図るとともに、就学前教育から小学校教育への円滑な接続を目指した幼保小連携教育を推進していきます。

「就学前教育振興指針」を策定しました

区では、区内の家庭、地域、乳幼児育成施設と連携・協力して就学前教育の振興を図るためのよりどころとして「就学前教育振興指針」を策定しました。指針の全文は、教育委員会ホームページ等でご覧いただけます。

杉並区の目指す「就学前の子どもの姿」

- 基本的な生活習慣を身につけている子ども
- 豊かで強い心と健やかでたくましい体をもつ子ども
- しっかりと話を聞き、進んで話をする子ども
- 自分で考え行動し、きまりや約束を守る子ども
- やさしさや思いやりの心もち、友だちと協同して遊ぶ子ども

この「就学前の子どもの姿」の実現を目指して、家庭・地域における教育力の向上のため、乳幼児親子のつどいの場や育児相談・講習会の充実などに取り組めます。あわせて、乳幼児育成施設の保育者の資質向上や連続性のある特別支援教育の推進などにより、すべての子どもと子育て家庭を支援していきます。

「(仮称) 幼保小連携カリキュラム」について

子保育園・幼稚園や保育園における就学前教育と、小学校における学校教育との円滑な接続を考慮して、教育・保育の質を向上させるため、幼保小連携教育を推進します。

今年度から、5歳児から小学校一年生の一学期にかけて、子どもに経験させたい内容を明らかにする「(仮称) 幼保小連携カリキュラム」の策定に向けて、検討を進めています。



区立私立保育共同研修会を開催しました

7月4日に、80名を超える公立・私立の子供園・幼稚園などの保育者を対象に、就学前教育の充実についての研修会が行われました。就学前にどのように子どもを育てていくかという基本的な考え方は、幼稚園であっても保育園であっても変わらず、どの子どもにも豊かな就学前教育を保障していくことに意義があるという井出教育長の講演をもとに、出席者同士の交流を通して、互いに学ぶ場となりました。

問合せ：済美教育センター

連載シリーズ2

杉並区の小中一貫教育

杉並区の小中一貫教育の各学校の取組について、連載シリーズで紹介します。第2回は、杉並区の小中一貫教育の目指す姿についてです。

杉並区の小中一貫教育の目指す姿

- 学力、心や体をバランスよく育み、子どもたちに自信をもたせます。
- 教員は、児童・生徒の成長や発達を支え、義務教育9年間を見通した指導をします。
- 地域に根ざした教育を推進し、学校を核とした地域コミュニティを創っていきます。



はじめは
知り合う
ことから

児童会と生徒会のランチミーティング



小中学生の交流を通して、お互いを知り合います。

次に
わかり合う
関係へ

小中学校合同の研究会



小中学校の教員が共同で指導する体制をつくり、相互理解を深めます。

そして
生かし合う
教育へ

小中学校の教員による交流授業



小中学校それぞれのよさを生かし、小中学校の教員が相互に行き来し、交流授業を行っています。

杉並区の小中一貫教育

小中学校がそれぞれの役割を果たし、互いに連携・協力し、義務教育修了までに、すべての子どもたちが自立して社会で生き、豊かな人生を送ることができるよう、そのための基盤を作ることを目的としています。

杉並区の各校では、小中一貫教育を通して、多彩な教育活動を展開しています。次回は、各校の実践についてご紹介します。

問合せ：済美教育センター

▶ 現在、報道等により、いじめが大きな社会問題となっています。いじめ問題等に悩む子どもたちや保護者等のための電話相談機関をお知らせします。



いじめ
No!

- 【杉並区】
 - 済美教育センター教育SAT 月～金 午前9時～午後5時 ☎ 3311-0023
 - 特別支援教育課電話相談 月～金 午前9時～午後5時 ☎ 3317-1190
 - 子ども家庭支援センターゆうライン 月～土 午前9時～午後7時 ☎ 5929-1901
 - 【国、東京都】
 - 24時間いじめ相談ダイヤル(全国统一ダイヤル) ☎ 0570-0-78310
 - 東京都いじめ相談ホットライン(24時間対応) ☎ 5800-8288
 - 【民間】
 - チャイルドライン(18歳未満専用) 月～土 午後4時～9時 ☎ 0120-99-7777
- その他の相談窓口等、詳細については、済美教育センターホームページをご覧ください。

井草中学校新校舎の竣工

平成22年度から耐震改築工事を実施していた井草中学校の新校舎が、特別支援学級棟の完成により平成24年7月に竣工しました。工事期間中、ご理解とご協力をいただいた地域や関係者の方々に、厚くお礼申し上げます。

昨年度に完成した新教室棟で生徒は楽しく学校生活を送っています。今後は、校庭整備工事を行い、平成25年3月に同校の改築事業は終了となります。新しい校庭の完成後は、地域の方々により親しまれ、愛される学校を目指していきたいと考えています。



問合せ：学校整備課

やさしい図書館「あかちゃんタイム」

突然泣き出したり、声をあげたりするあかちゃん。育児中の親御さんはいつも気を遣います。図書館では、あかちゃんと一緒に親御さんが図書館を利用しやすいように、職員とボランティアがサポートする時間「あかちゃんタイム」を設定しています。ほかの利用者からご理解いただき、絵本や手遊びなどで楽しんでもらっています。中央図書館は毎週火曜日の午前10時30分から正午まで行っています。その他の図書館については、図書館ホームページをご覧ください。



問合せ：中央図書館

● 家庭教育講座 実施団体募集 ●

左記のような「親として学びたいこと」は、お子さんと一緒に暮らし、日々向かい合っているからこそ感じるものです。子どもの成長段階と特徴を知り、その成長に応じた親の適切な関わり方等をテーマにした講座を企画してみませんか。講座は1回から開催できます。

募集団体

小・中学校PTA、幼稚園・保育園・子供園父母の会など

募集案件

以下の2つの条件を満たす学習講座。なお、工作や手芸、スポーツなどの講習会は該当しません。

- ①子どもの成長段階に応じたテーマを設定すること。(5歳～中学3年生)
- ②家庭教育講座にふさわしい内容であること。

※取組例 ・思春期の子どもと暮らす
・自分と友達を守る！ネット・ケータイのこわい付き合い方

実施回数

1回または2回 (原則)

実施期間

9月～25年2月

支援内容

経費の一部を共催分担金として支給 (上限3万円)

その他

講座の参加者は、5歳～中学3年生の保護者に限りません



問合せ：学校支援課 家庭・地域教育担当



家庭教育の支援～

今後、親として学びたいことの1位は「親子の関わり方」(家庭教育講座)

5月14・15日にセシオン杉並で開催したPTA活動セミナー(教育委員会主催)において、家庭教育講座の今後のあり方を探るため、小・中学校のPTA役員等を対象に「家庭教育の講座に関するアンケート」を実施しました。

その結果、今後、親として学びたいことは以下のとおりとなりました。

上位には、古くて新しい恒常的な課題である子どもの成長段階に合わせた「親子の関わり方」や現代的課題である「携帯電話やインターネット」の利便性や危険性についてが入っています。

<学びたいことランキング> アンケートの回収数は323件で複数回答です。

1	親子の関わり方	153
2	思春期の悩み	132
3	携帯電話やインターネットについて	128
4	子どもの心と体の発達	116
5	家庭学習	86
6	思いやりの心について	78

CAMOプロジェクト 「阿佐ヶ谷チャレンジ運動会」



問合せ：社会教育センター (☎3317-6621)

大人になると、新しい仲間に出会える場が限られてきませんか? “地域に知り合いがない”ということもしばしば。特に、20～30代はSNSやブログの影響で、「つながり」には敏感です。けれども、この年代が現実世界で地域とつながる場面を考えると、案外少ないものです。

そこで、若者を対象とする区民企画講座「CAMOプロジェクト」では、「阿佐ヶ谷部」が中心となって運動会を開催し、若者が地域で仲間を増やすきっかけづくりを行いました。

運動会といっても、種目は傘バランスや立ち腕相撲といったユニークなレクリエーションです。チーム対抗で得点を競い、体育館はさわやかな汗と笑いに包まれていました。

また今回、普段は若者が足を運ぶことのない学校の体育館(杉並第一小学校)を会場にしたことで、地域に学校が開かれていることや、災害時には避難場所となることを知る機会にもなりました。

若者が少しずつ地域に溶け込んで愛着を持てば、将来地域づくりの担い手になってくれることでしょう。

※第2回の開催予定 11月23日(金・祝)



雑巾がけリレーの様子

▶ 次世代育成基金を活用した交流自治体中学生親善野球大会を開催します

この大会は、次代を担う中学生が野球を通じた国際交流事業を行うことで、異文化理解・国際理解を深め、国際社会を担う人として成長してほしいとの思いから始まりました。今年は区制施行80周年を迎え、平成23年度に交流を深めた台湾台北市、福島県南相馬市の中学生と、杉並区選抜チーム(2チーム)が、親善野球大会を行います。皆様のあたたかいご声援をお願いします。

日時：10月7日(日) 開会式 午前 9時00分 10月8日(月・祝) 第三試合 午前 9時00分
第一試合 午前10時30分 閉会式 午前11時00分
第二試合 午後 1時30分

※試合時間は変更になる場合があります。雨天の場合は中止となります。

場所：【開会式・閉会式】王子製紙富士見ヶ丘グラウンド(久我山2-19-1)

【試合】王子製紙富士見ヶ丘グラウンド(久我山2-19-1) 富士見ヶ丘運動場(久我山2-2-1)

問合せ：スポーツ振興課事業係

インターネット中継講演会

「ハワイから見える宇宙」を開催しました



ハワイ観測所すばる望遠鏡
©国立天文台



8月10日に、小学5・6年生を対象とした講演会「ハワイから見える宇宙」を科学館で開催しました。講演会では、国立天文台ハワイ観測所のすばる望遠鏡（単一鏡では世界有数の大きさを口径8.2m）から見える宇宙の画像を、インターネットを通して杉並区の友好都市である名寄市、南相馬市と杉並区に配信し、ハワイ観測所准教授の林左絵子氏にわかりやすい言葉で解説していただきました。

会場に集まった児童など約100名は、ハワイから届く星の画像に目を輝かせながら、ハワイの林先生に直接質問し、宇宙の神秘に触れる貴重な体験学習の場になりました。

問合せ：生涯学習推進課

理科教育が変わります

今年度の全国学力調査では、中学校において理科離れが進んでいる状況や小・中学校共に、学んだことを日常生活に適用したり、問題解決に生かしたりする力に課題があることがわかりました。

杉並区では、これまでに、理科担当教員が魅力ある授業を展開できるように教員研修等の充実を図るとともに、小学校に「理科専科教員」や「理科支援員」等を配置し、実験・観察等の体験活動を重視した授業の拡充や、理科室環境の改善などを進めてきました。

9月には、小・中学校全校の理科室に大型タッチディスプレイを設置しました。これは、子どもたちの理科への興味・関心を高めるために、ディスプレイを使用した分かりやすく、見た目にも楽しい授業を行うことを目的としています。また、教員による授業だけでなく、子どもたちのプレゼンテーション能力や表現力の向上にも活用していきます。

今後は、全国学力調査の結果を踏まえ、大型タッチディスプレイの有効活用についての検討や教員研修の充実を図り、理科への興味をもった子どもたちを育てていきます。



大型タッチディスプレイを使用した理科の授業（桃井第三小学校）

問合せ：済美教育センター

おやじの会主催

サマーナイトスクール

和田小学校

8月25・26日に、和田小学校の校庭で「サマーナイトスクール」を行いました。アルファ米の炊き出しや塩もみキュウリを作るなどの防災体験型のお泊り会です。

今年は、JAXAから講師をお招きし、宇宙食の話や聞き、無重力についての映像を見たり、玉子の落下実験を行いました。そのほかにもキャンドルナイトでの読み聞かせ、毎年大人気のナイトトレジャーハントを楽しみました。最後に児童同士で将来を語り合うなど、宿泊した6年生は思い出に残る貴重な時間を過ごしました。



屋上でのラジオ体操（6年生）



屋上での夕飯（5年生）

問合せ：和田小学校

白神環境保全貢献大賞を受賞しました！

秋田県と青森県の県境にまたがる広大な山岳地帯の白神山地は、平成5年に自然遺産としてユネスコに世界遺産登録されました。

NPO法人「白神山地を守る会」は、クマゲラの棲むブナの森の復元・再生活動を展開しています。このたび白神自然学校一ツ森校が主催する「夏休み自然体験塾」に、平成17年から杉並区の子供たちが参加し、白神山地へ植林をしてきたことが評価され、「白神環境保全貢献大賞」を受賞しました。



代表理事 永井 雄人さん(左)から井出教育長(右)にブナで作られた記念の盾が贈られました

問合せ：庶務課

▶ へん知る

教育委員会の動き（24年6月～24年8月）

教育委員会は、毎月第2・4水曜日に開催され、必要に応じて臨時会を開催しています。

【教育委員会開催状況】 ・定例会 5回 ・臨時会 1回 ・議案 13件 ・報告事項 17件

【主な案件】 ◎は審議、○は報告事項

- ◎「杉並区教育ビジョン2012推進計画」の策定について
- ◎「就学前教育振興指針（案）」について
- エコスクール事業の見直しについて
- 国立天文台ハワイ観測所からの中継講演の実施について

- ◎ 杉並区学校希望制度の見直し方針について
- ◎（仮称）杉並区スポーツ推進計画の策定方針について
- 親子健康教室の開催について